

大阪文化のディープゾーンへ誘う



会長 **端 信行**

大阪といえば道頓堀、道頓堀といえば「くだおれ」。いつ頃からこのようなイメージができあがったのでしょうか。京の着倒れ、江戸の飲み倒れに対して、大坂の食い倒れという慣用句は、江戸時代からあったという。この慣用句から屋号をとって、道頓堀に「くだおれ」食堂が創業・開店したのは、まだ戦災の傷跡もあらかた昭和24年のこと。翌年には1階正面にチンドン屋の扮装をした「くだおれ太郎」が現れ、次第に知名度をあげてすっかり大阪の観光名物となった。

イイ文化サロン第6回で話題を提供していただく柿木道子さんは、この戦後の大阪を代表する「大阪名物 くだおれ」に生まれ、ともに戦後の大阪をつぶさに生きぬいてこられた。平成10年には店は閉じられたが、「太郎」は旅に出て、柿木さんは「太郎」の面倒をみておられる。いま日本を席卷するゆるキャラブームのさきがけともいえる「太郎」は、1年後に旅から戻っていまはふたたび道頓堀に立つ。

柿木さんは、まぎれもなく大阪文化の深遠な未知の時空の語り部である。どうか皆さまお楽しみに。

第5回「イイ文化サロン」news



春爛漫の4月5日(土)中之島フェスティバルタワー12階のアサコムホールで「第5回イイ文化サロン」を開催。学者・文化人・音楽家・舞踊家・市民など文化を愛する115名が参加した。

オープニングは「日本の四季メロディー」を弦楽三重奏(西村泳子・山田園子・中田美穂)が爽やかに奏でた。船岡陽子副会長は挨拶の中で大阪フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者に就任した井上道義氏の功績を紹介し、大阪フィルの新たな船出に期待を寄せた。

井上道義氏と堀江政生氏(朝日放送アナウンサー)は「オーケストラと文化都市」をテーマに対談。井上氏は「オーケストラは社会の縮図、だから大阪フィルは大阪そのもの、オーケストラは文化を作り大阪を発展させる」とオーケストラと都市の関係を述べた後「文化は守るべきものではない、本物は必ず残る、本物のオーケストラであるかどうかだ」と、更に「大阪フィルは進化していけば本物になる」と力説し歴史の審判を仰ぐことを示唆した。

参加者からは「井上氏の本音の語らいは解りやすく良かった」「大阪フィルに親しみを感じる対談だった」との声。会場をレストランラルゴに移しフェスティバルプラザの林敬三副支配人から「大阪フィルが11年ぶりにフェスティバルホールに戻った」と称え新出発に乾杯。ランチを楽しみながらの文化談義は続いた。

在日コリアンのシンガーソングライターのイ・ヨンボ氏がサプライズ出演、「はら春がきた」を謳い会場を盛り上げた。滝廉太郎作曲の「花」を全員で合唱し、幹事の門田展弥の一本締めで閉幕した。

第6回 イイ文化サロン

Intercultural

みんなを元気にする歌がある
みんなと心をつなぐ文化がある



主催：非営利活動団体 イイ文化サロン
協賛：(株)NDSMatsumoto 京都建設業事務組合 (株)ピアノ技術センター (株)メディコスヒラタ YOKO Piano International Assoc. (医)恵和会 享代クリエイト(株) 大阪音楽大学 (株)大阪共立 (株)学情 リーガロイヤルホテル (個人支援者) 中井和子 楊枝洋実(ジブラルタ生命) 事務局：〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町1-28 東高津藤原ビルB1F 彦前事務所内

- 会長…………… 端 信行 文化人類学者、国立民族学博物館名誉教授 滋賀県平和祈念館館長
- 副会長…………… 船岡陽子 ピアニスト、YOKO Piano International Assoc. 代表
- 顧問…………… 中司 宏 政治評論家、元枚方市長
- 顧問…………… もず唱平 作詞家
- 幹事…………… 今村洋二 医師
- 幹事…………… 桶村久美子 カラーアナリスト、ラジオパーソナリティー
- 幹事…………… 片岡量臣 作曲家、ピアニスト
- 幹事…………… 辰野六雄 京都建設業事務組合代表理事
- 幹事…………… 中井政嗣 関西演芸推進協議会専務理事、社会教育家
- 幹事…………… 中井和子 高市製薬(株)取締役
- 幹事…………… 早坂三郎 心理学者、芦屋大学客員教授
- 幹事(事務局長)…… 彦前清吾 文化コーディネーター
- 幹事…………… 平田百合子 (株)メディコスヒラタ専務取締役
- 幹事…………… 門田展弥 作曲家 追手門学院大学地域文化創造機構客員特別教授 (幹事50音順)

非営利活動団体「イイ文化サロン」

関西文化を愛する人たちの集まり

関西をそして大阪をよりよい故郷にしていけるために、このグローバル時代には、いろいろな異文化の人たちと交流することによって、私たちの「心を豊かに」し、「驚い絆」と「憧れる夢」も併せて創造していくことを目的に「イイ文化サロン」(文化振興)を2012年に設立いたしました。

主な活動

- (1) 会員と会員を結び共通の目的に進むため、年間数回の交歓会を開催、著名人から話を聞き学びます。また参加者から体験・トピックスを披露してもらうなどユニークな交流を深めるとともに会員の文化活動を援助していきます。立食パーティ(名刺交換会)で楽しい情報交換を行います。
- (2) 若手の芸術家に活躍(発表)の場を提供、または積極的にサポート(鑑賞・応援)します。
- (3) 青少年の情操教育を高めるため、学校コンサートや体験教室などに芸術家を派遣いたします。(音楽家、陶芸家、画家、華道茶道家、能楽師など)
- (4) 女性の知的ネットワークを図る事業を行っています。
- (5) 随時、文化講座・文化講演会・音楽会・大学(社会人対象の公開講座、講師は会員から人選)などを企画し、開催します。
- (6) 各種団体(企業、大学、NPO)とも連携・協力して文化の振興と会員の相互扶助を図ります。
- (7) 在日外国人や留学生、その組織と交流をします。外国人の感じ方・考え方を学び、海外の国々を身近に知るため異文化に触れます。
- (8) その他 文化振興に関するいろんな事業を行っています。



第6回 講演と交歓の集い

日時 6月28日(土) 午前11時30分開会
会場 リーガロイヤルホテル(光琳の間)
参加費 6,000円(但し前期納金済の方は不要です)

オープニング演奏 シター演奏
演奏者: 中川啓子

講師: 柿木道子(くいだおれ女将)

ランチ&交歓

合唱: イイ文化サロン合唱団

講師プロフィール

前
期



柿木道子(くいだおれ女将)

「浪速のおもてなし」

甲南大学卒業後、家業の道頓堀「くいだおれ」に入社。女将として接客に力を注ぐ。客商売の原点であるお客様サービスを徹底。2004年代表取締役会長に就任。看板人形「くいだおれ太郎」は大阪の観光名物となる。2008年に惜しまれながらも「くいだおれ」は閉店。「くいだおれ太郎」は大阪のシンボルとして活躍を続ける。著書に「くいだおれ波乱万丈記」。

後
期



9/28(日)11:30

端 信行(国立民族学博物館名誉教授)

「経済再生は文化創造から」



11/30(日)11:30

クリスマスコンサート

(室内アンサンブル・合唱)

お申込みは

ご参加いただける方は、下記にFAXか
電子メールにて **6月13日(金)**までお申し込みください。

FAX: 06-6768-1380 E-mail: info@eebunka.net

参加申込書 (前期会員の方はお名前のみご記入下さい)

お名前(ふりがな)	ご同伴者氏名
年齢	歳代
ご住所 〒	
お電話 ()	
FAX ()	
メール	
お仕事紹介(ご自由にお書き下さい)	

紹介者 ()

木村和夫「北画墨絵展」

木村和夫は雪舟や狩野派により伝えられた〈水〉と〈墨〉による白黒の表現「北画」の最後の継承者です。
東京・パリ・ミラノ等の国内外で個展・講演を実施しています。
今回は「イイ文化サロン」の会場で特別に展示を行います。
是非ご鑑賞ください。